

備前市事務事業評価表

事務事業名	環境保全対策事業		コード	担当課	環境課 保全係
			01-02-03-02	担当者	河井健治
事業実施期間	平成17年3月22日～		電話	64-1822	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	自然と共生するまちづくり			
	小項目	省資源・省エネルギー			
	施策	環境意識の高揚			

事業について	
目的	省資源・省エネの推進と、グリーン購入、クリーンエネルギーの導入に努めることで限りある資源を大切に利用することの重要性を普及させる。
対象（誰のために）	市民
内容	省資源・省エネルギー運動の推進 グリーン購入の推進 クリーンエネルギーの導入 普及活動

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
こどもエコクラブ推進事業	4	団体		
各種教室実施	2	回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	410	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,280	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,690	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.15	人		
結果指標名	こどもエコクラブ会員数			
結果指標量	90			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	370,000	円		
単位当たりコスト①	4,111	円		

結果指標名	各種教室参加人数			
結果指標量	101			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	910,000	円		
単位当たりコスト②	9,010	円		

事業の成果			
成果指標名	こどもエコクラブ会員率	式又は説明	会員/6歳以上12歳未満人口
成果指標量	5%		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	10%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：大気汚染防止法
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	今後も学校等の総合学習を利用していただき、子供の頃から環境に対する知識を習得することで、地域での環境意識の拡大を図ることで、地球環境の保全に寄与するものと考えられることから、継続した事業の展開と拡大が必要である。
評価区分	<A~E> A

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	180	結果指標量②	200
目標値	結果指標量	10%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	積極的に国・県等の事業を採用する	H19~	低コストでの事業拡大が期待できる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

市民(子供)を対象に、環境に関する意識を植え付けることで、家庭等から省資源・省エネ等の実践活動の普及を図る。

事業費は、事業実施回数等で大きく左右されるが、国や県の事業を採用したり他機関との連携によりコストは抑制できている。

子供から普及、啓発させることで、家庭、地域、学校等での環境に配慮する意識の啓発が期待できる。また、地域活動団体が増加することで団体独自の事業展開も期待することが出来る。